

## 八雲町学校給食センターの改築について

### 1 学校給食センターの現状

- 八雲町学校給食センター
  - ①位 置：八雲町東雲町 33 番地（八雲中学校隣接）
  - ②建設時期：昭和 58 年 12 月（築 34 年）
  - ③建物構造：鉄筋コンクリート平屋建て
  - ④建物面積：794.23 m<sup>2</sup>、敷地面積：3,594.97 m<sup>2</sup>
  - ⑤調理能力：3,500 食/日、実配食数：1,230 食/日（平成 29 年 5 月 1 日現在）
  - ⑥職 員 数：18 名 所長、次長、主任、再任用職員、道職員（栄養教諭）、  
臨時調理員 13 名（主任 1 名、調理員 6 名、パート 6 名）
  
- 八雲町熊石学校給食センター
  - ①位 置：八雲町熊石雲石町 200 番地（熊石小学校向かい）
  - ②建設時期：昭和 53 年 12 月（築 39 年）
  - ③建物構造：鉄筋ブロック平屋建て
  - ④建物面積：309.50 m<sup>2</sup>、敷地面積：1,116.00 m<sup>2</sup>
  - ⑤調理能力：1,200 食/日、実配食数：123 食/日（平成 29 年 5 月 1 日現在）
  - ⑥職 員 数：7 名 所長（兼務）、係長、道職員（栄養教諭）、  
臨時調理員 4 名（調理員 3 名、パート 1 名）

### 2 学校給食センター改築の必要性

- 八雲町学校給食センター（築 34 年）、熊石学校給食センター（築 39 年）ともに老朽化が進んでいること、アスベスト含有建材の使用により毎年検査が必要であること及び衛生管理の一層の徹底を図るため、早急に改築が必要な状況である。  
また、町内の児童生徒に同じの給食が提供できることや、地産地消を推進し「ふるさと八雲」への愛着を深める食育指導の観点、さらに、熊石地域の各学校が熊石小学校、熊石中学校に統合されたことにより、運搬時間の短縮となり、八雲町学校給食センターからの提供が可能となったことなども勘案し、八雲町学校給食センターと熊石学校給食センターを統合し新しく建替えることが望ましいと考え、取り進めている。

### 3 建設予定地の所在地、地目及び地積

- 給食センターは、建築基準法施行規則により主要用途区分が工場となっており、八雲町都市計画では、準工業地域のみが建設可能である。

### 第3回定例会「財産の取得について」の可決内容

#### ○財産の所在地、地目及び地積

所在地	地目	地積
二海郡八雲町内浦町 237 番地 23	畑	445 m <sup>2</sup>
二海郡八雲町内浦町 237 番地 24	畑	5,693 m <sup>2</sup>
合計	2筆	6,138 m <sup>2</sup>

○取得の目的 八雲町学校給食センター建設用地

○取得の金額 55,702,500円

○契約の相手方 札幌市西区発寒  
生活協同組合コープさっぽろ

#### 4 今後のスケジュール（案）

- 平成29年度：整備方針検討・協議、基本設計
- 平成30年度：実施設計
- 平成31年度：建設工事着手
- 平成32年度：建設工事、竣工、供用開始

八雲町学校給食センター建設予定地 位置図



